

令和3年度稲稜祭

令和3年度の稲稜祭(学園祭)を、9月1日と2日に文化祭、4日に体育祭を行いました。

文化祭では、生徒会イベント、ミュージックフェス(色別による音楽パフォーマンス)、演劇・放送部の公演、吹奏楽部の演奏、文化部と委員会の展示や本校卒業生で農業史研究者である藤原辰史さんによるリモート講演などが行われました。

体育祭は応援合戦のみの実施となりましたが、それぞれの色別チームで練習を重ねてきたダンスを披露し、順位を競いました。

コロナ禍で様々な制約がある中での開催となりましたが、とても充実した三日間となりました。



環境にもお財布にもやさしい生活にチャレンジ!!

「キャンプで出来るSDGs」

キャンプというと夏休みがある7、8月を思い浮かべる方も多いようですが、実はキャンプのベストシーズンは秋!夏に比べると虫が少なく、涼しく快適に過ごせ、美しい紅葉も堪能できます。また、焚き火も心地良く楽しむことができるのです。今回は、そんなキャンプで出来るSDGsをご紹介します。

キャンプ場は水場が遠いという難点がありますが、限りある水を大事に工夫して使うのが楽しさでもあります。また、使った食器や鍋の汚れは不要の布や近くの葉っぱで拭き取ると水や洗剤の節約になります。洗剤も環境に優しい商品を選びましょう。野菜くずなどを捨てる際、ビニール袋は使わず、チラシで作ったゴミ箱を使うと水分を吸収してくれます。地産地消で、現地の物を美味しく、切り方を工夫してまるごと頂く楽しみも醍醐味です。ほんの少しの取り組みが、地球の未来を守ります。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナ付
(奥出雲町在住しほねエコライフサポーターの会)



10月の休室日

月曜日、
月末休室(29日)

- 「琥珀の夏」 辻村 深月 著
- 「雷神」 道尾 秀介 著
- 「結石・胆石「体の石」を自分で防ぐ、
治す最善の知恵とコツ」 栗原 毅 監修
- 「和田明日香のほったらかしレシピ 献立編」 和田明日香 著
- 「わかりやすい!まとめやすい!
小学生の自由研究」 ガリレオ工房 編著
- 「どうしてねっちょうしょうになるの?」 清水直樹 監修
- 「すいかのたね」 グレック ピゾーリ 作

カルチャープラザ仁多図書室

- 今月のピックアップ -

『星落ちて、なお』

鬼才・河鍋暁斎を父に持った娘・暁翠の
数奇な人生とは一。

父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた
女絵師の一代記。

不世出の絵師、河鍋暁斎が死んだ。残された娘の
とよ(暁翠)に対し、腹違いの兄・周三郎は事あるごと
に難癖をつけてくる。早くから養子に出されたことを逆恨みして
いるのかもしれない。暁斎の死によって、これまで河鍋家
の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。(出版社紹介より記載)

横田「コミュニティセンター」図書室

- 「臨床の砦」 夏川 草介 著
- 「野球が好きすぎて」 東川 篤哉 著
- 「道の駅旅案内全国地図」 ゼンリン 編
- 「いまこそスマホ」 岡嶋 裕史 講師
- 「こねこがにゃあ」 ひろの たかさく
- 「はかせのふしぎなプール」 中村 至男 さく
- 「かなへび」 竹中 践 ぶん

10月の休室日

日曜日、
28日(木)〜31日(日)

奥出雲町 図書館

新着図書案内

カルプラ仁多図書室 ☎54-2083
横田「ミセン」図書室 ☎52-0949



町立奥出雲病院コーナー

みなさんは「総合診療科」は、 どのような科かご存知でしょうか?

奥出雲病院では開院以来、初めて「総合診療科」を4月から設けました。総合診療科は患者さんの心身の不調を把握し、全ての病気を診る科です。検査・診断・治療を行い、必要な場合には専門医への紹介も行います。

例えば、こんな時は総合診療科にご相談ください

- ・何科に受診すれば良いかわからない
- ・いくつかの持病があり、相談したい
- ・体調不良が続いている
- ・「精神的な問題」と言われたけれど、精神科にかかるのは、ためられる
- ・この頃、物忘れが気になっている



毎日、初診外来を
行っていますので、
お気軽にご相談ください



遠藤部長 重栖医員

▶総合診療科 部長 遠藤 健史(えんどう たけし)

松江市出身、自治医科大学卒業
隠岐病院・島前病院・邑智病院・雲南市立病院を経て現職
「医療職も住民のみなさまも出入りがしやすい病院を目指します」

▶総合診療科 医員 重栖 慎典(おもす しんすけ)

隠岐の島町出身、自治医科大学卒業
島根県立中央病院を経て、現職
「みなさまの生活と健康を支える医療が行えるよう、尽力いたします」

一定期間木次線をご利用いただける
モニターの方を募集しています

JR木次線でおためし通勤!

沿線4市町でつくる木次線利活用推進協議会では、新たにJR木次線を利用して定期的な(約1か月間)通勤等をし、かつアンケート調査にご協力いただけるモニター(高校生以下を除く)の募集を11月末まで延長します。

最寄り駅からの通勤、通院等に係る、普通回数乗車券(11回分)または定期券(1か月)を全額補助します。

助成金を交付した対象の方には、地元産品等の謝礼(奥出雲和牛赤身焼肉300g)を進呈します。なお、定員に達し次第、募集を終了します。

期間中は、町職員も一時的なフレックスタイムを導入して利用促進を図ります。詳しくは、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

木次線利活用推進協議会(事務局:地域づくり推進課)

ホームページ:<http://kisuki-line.jp>

有線:31-5264 電話:54-2524 FAX:54-0052



11月末まで定期モニターの募集を
延長します!



▲交付対象者へ先着順にプレゼント